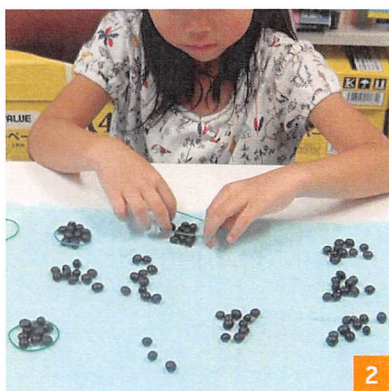


算数・数学クリニック

文学部 教育学科 穴田恭輔

- 実施日：2016年4月6日～2017年3月15日
(いずれも水曜日) / 計38回
- 場 所：神戸女子大学 須磨キャンパス M館 M315教室
- 対 象：地域の子ども(就学前～高校生)
- 主 催：神戸女子大学 文学部 教育学科 穴田研究室
- 参加学生数：5名



- 1 数図カードを読む
- 2 黒豆を数えるとき、10のまとまりを意識する
- 3 「大学都市 KOBE ! 発信プロジェクト」における展示

「算数・数学クリニック」は、開設から丸10年を迎え2016年10月からは11年目に突入しました。内容は、本学周辺地域で算数・数学の学習につまずいている子どもたちへの学習支援です。学校では取り残されてしまうこともある子どもたちが学校での学習とは別に、丁寧に指導を受けられる環境があれば、自分に合ったペースでゆっくりと学習できると考え、寺子屋のように個別に指導を行っています。来訪する子どもたちを指導するスタッフは、穴田准教授と小学校教員を目指す教育学科の学生たちです。また、本学の認知心理学、臨床心理学の専門家と連携協力体制をとることもあります。開設以来、参加した子どもたちの延べ人数は2,000名を超えています。この活動を通して、特に就学前の児童に対して、日常生活の中で「数量・形」に係る体験をすることの必要性を感じています。

2016年度は計38回、毎週水曜日の15:00～19:30に開催し、参加した子どもたちの延べ人数は114名でした。これまでの小中高生への学習支援に加え、就学前児童(幼稚園児)に対し「数量・形」に係る体験を具体的に提供することができました。また、その事例をもとに、神戸市が主催する「大学都市 KOBE ! 発信プロジェクト」(グランフロント大阪)の中で、本学教育学科が企画した展示「心と心・目と目 響きあう教育を! 神戸女子大学 - Arts & Sciences -」において、算数や数学に関する展示を行うことができました。